

1. 本県周辺海域の概況(図1, 2/6現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行したD型で推移しています。本県沖での黒潮本流は、1月下旬まで本県北部海域沖合を蛇行する流路で通過していましたが、現在は犬吠埼沖合を東方に流去しています。
- ・東北海域の広い範囲で黒潮本流から暖水が波及しています。北上した暖水は三陸沿岸にまで到達しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯40° 東経146° 付近(岩手県沖合)にあります。親潮の面積は平年並です。

2. 海洋観測結果(1/31~2/5:調査船「いばらき丸」)

- ・時化の影響により、鹿島および犬吠埼定線の沖合定点(東経141° 45' ~143° 00')が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2~9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10~13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14~17に示しました。表面水温は、会瀬沖で14.4~18.3°C, 大洗沖で12.9~18.0°C, 鹿島沖で13.8~15.4°C, 犬吠埼沖で14.8~16.5°Cでした(図2)。
- ・前月と比べると、会瀬定線の一部沖合で昇温(+1~+2°C)しましたが、その他の海域では概ね降温(-4~-1°C)しました(図6~7, 図14~15)。
- ・平年と比べると、鹿島および犬吠埼定線では「平年並~やや高め」、会瀬および大洗定線では「高め~きわめて高め」、極沿岸では「高め」となりました(図8~9, 図16~17)。
- ・潮流の特徴として、比較的強い(1ノット以上)真潮(北向きの潮流)および込潮(沿岸方向への潮流)が会瀬および大洗定線の一部で観測されましたが、逆潮(南向きの潮流)はほとんど観測されませんでした。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行型のD型から直進型のN型に移行するでしょう。また、黒潮の蛇行部が犬吠埼沖を東進するため、本県沖での黒潮流路は北東~東方で大きく変動するでしょう。
- ・親潮の面積は平年並で推移し、親潮第一分枝の先端は北緯39° 東経144° (岩手県沖合)にやや南下するとみられますが、津軽暖流の張出しおよび三陸沿岸へ北上した暖水の影響により、本県沖に親潮系冷水が直接影響することはないでしょう。
- ・水温を平年と比べると、全域で「高め基調」で推移するでしょう。

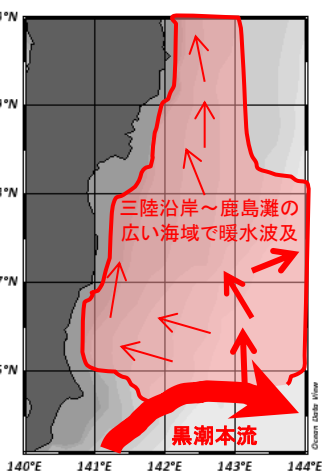


図1 海況の概要 (2月6日現在)

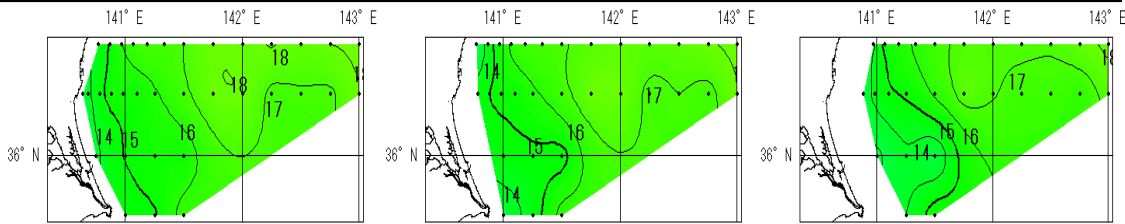


図2 海面水温(°C)

図3 50m深水温(°C)

図4 100m深水温(°C)

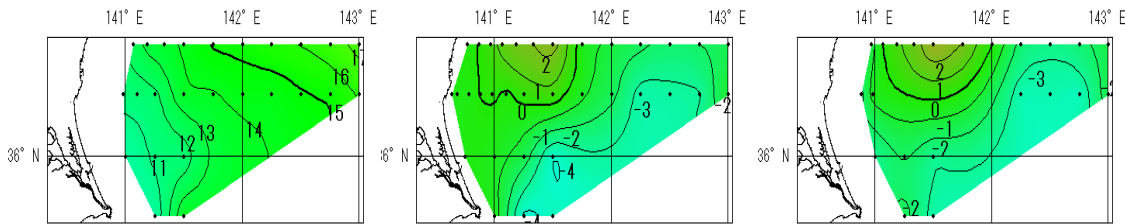


図5 200m深水温(°C)

図6 海面水温前月差(°C)

図7 100m深水温前月差(°C)

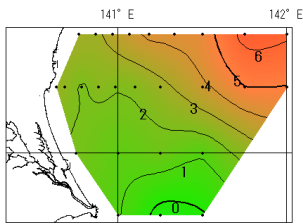


図8 海面水温偏差(°C)

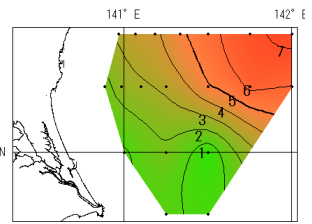


図9 100m深水温偏差(°C)

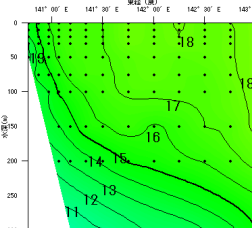


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

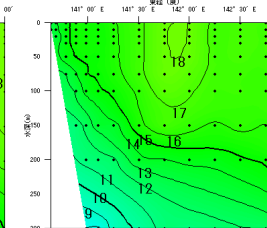


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

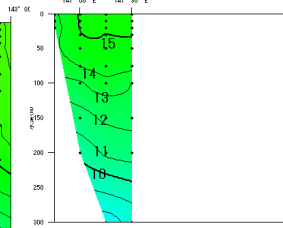


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

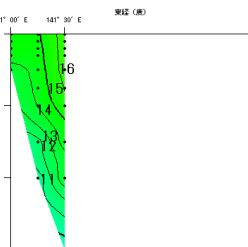


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

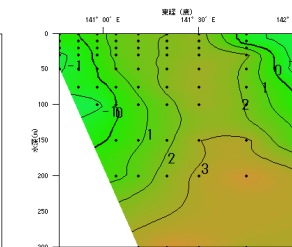


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

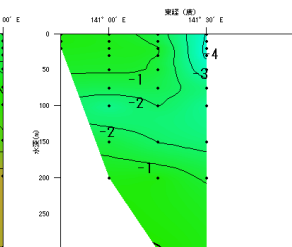


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

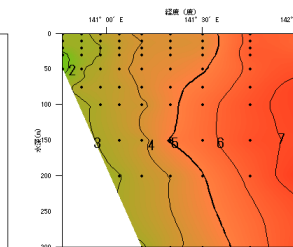


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

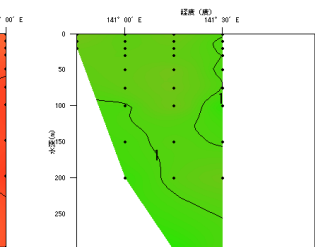


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)